

◎景気ウォッチャー調査[2023年9月] 2023年9月の中国地域調査結果の概況

■景気の現状に対する評価

現在の景気を3か月前と比較するとその評価は次のとおりであった。

景気の現状判断D I (合計)は、前月を2.1ポイント下回る51.4となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「良くなっている」の回答の割合が減少し、「各種商品の値上げの影響から、販売数量は減少傾向である。特に衣料品は夏物セールが終了し、定価商品を販売しているため、苦戦傾向である。」(百貨店)、「メーカー主体の値上げが数回あり、消費者の購買意欲が非常に低下している。」(自動車備品販売店)等の理由から、「やや悪くなっている」、「悪くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を3.5ポイント下回る50.2となった。

企業動向関連は、「やや悪くなっている」の回答の割合が減少したため、前月を3.6ポイント上回る52.9となった。

雇用関連は、「やや良くなっている」の回答の割合が減少し、「生産年齢人口の減少を背景に求人数は高水準を維持しているものの、自動車関連や半導体関連などの業種の求人数は減少している。」(人材派遣会社)等の理由から、「やや悪くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を4.6ポイント下回る56.3となった。

	9月	8月	前月差
合計	51.4	53.5	-2.1
家計動向関連	50.2	53.7	-3.5
企業動向関連	52.9	49.3	3.6
雇用関連 (参考値)	56.3	60.9	-4.6

■景気の先行きに対する評価

現在より3か月先の景気の先行きに対する評価は次のとおりであった。

景気の先行き判断D I (合計)は、前月を2.3ポイント上回る51.7となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「やや悪くなる」、「悪くなる」の回答の割合が減少し、「コロナ禍で中止されていたイベント等が復活し、人が集まる機会が増加しているため、それに伴う消費も喚起される。」(百貨店)、「秋の観光シーズンが到来するため、景気が上昇すると考えている。」(観光型ホテル)等の理由から、「やや良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を1.9ポイント上回る51.3となった。

企業動向関連は、「やや悪くなる」の回答の割合が減少し、「化学業界全般としては、環境問題に直結するものが多いが、景気を後押しするものも多いため、経済や社会へ貢献できると期待している。」(化学工業)、「販売先の3か月内示が現状と比べやや良くなっている。」(輸送用機械器具製造業)等の理由から、「やや良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を5.1ポイント上回る54.4となった。

雇用関連は、「良くなる」の回答の割合が減少したため、前月を1.6ポイント下回る48.4となった。

	9月	8月	前月差
合計	51.7	49.4	2.3
家計動向関連	51.3	49.4	1.9
企業動向関連	54.4	49.3	5.1
雇用関連 (参考値)	48.4	50.0	-1.6